



青森県立美術館舞台芸術企画 アレコ2019 spin-off

# Mariula

Recollection of 73 seconds

〔脚本・構成・演出・ナレーション〕長谷川孝治 (青森県立美術館舞台芸術総監督)

〔引用〕アレクサンドル・プーシキン「ジプシー」

〔出演〕

ダンサー／沼尾みやこ、品田 彩、小笠原悦子、菊地このみ、川村 陽、松野莉果、對馬さくら、渡辺歩夢、小島由藍

一輪車／豊田児童センター 一輪車クラブ

俳優／平田彩乃、盛 桜華 語り・ピアノ演奏／福田寿枝

2019年2月9日(土)・10日(日) 18:00開演 青森県立美術館アレコホール

〔主催〕青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会、青森県立美術館

[www.aomori-museum.jp](http://www.aomori-museum.jp)

青森県立美術館舞台芸術企画 アレコ2019 spin-off

# Mariula

Recollection of 73 seconds

〔脚本・構成・演出・ナレーション〕長谷川孝治 (青森県立美術館舞台芸術総監督)

〔引用〕アレクサンドル・プーシキン「ジプシー」

〔出演〕ダンサー／沼尾みやこ (DANCE WAG 主宰)

品田 彩

小笠原悦子、菊地このみ、川村 陽 (DANCE WAG)

松野莉果、對馬さくら、渡辺歩夢、小島由藍

一輪車／豊田児童センター 一輪車クラブ

俳 優／平田彩乃、盛 桜華 (青森県立美術館演劇部)

語り・ピアノ演奏／福田寿枝 (青森県立美術館ドラマリーディングクラブ)

## 「市役所の窓口で喚くお年寄りを擁護する」

青森県立美術館舞台芸術総監督 長谷川孝治

還暦を過ぎると人は気が短くなる。

世間ではそう言われてきた。「そんな馬鹿な、誰だって個性っていうのがあってさ・・・」そう思ってきた。

最初はスーパーのレジで、その次が温泉の受付、それから職場の同僚を前にして、わたしは今までになく切れた。

冷静に話し始めたものが、自分の言葉に触発され、煽られ、押さえようとする気持ち強い分だけ声が大きくなり、その大きな声がさらに気持ちを刺激して次の下品な言葉を産んでしまう。

なんてことのない一言、なんてことのない仕種、どうってことのない素振り、これまで隠していたむき身のわたしのどこかにひっかかる。

勿論それはどうってことのないわたしの一部分だったので、それまでは我慢しているなんて感じることもなく自動的にわたしの感情は抑圧されていた。

しかし、ある日を境にして、わたしの組成、そうとしか言い様のないものが変わってしまうのだ。

その境の日に、わたしはわたしの中に弱い風が吹くを感じた。その風はわたしの深いところから吹き上げてきて、耳をかすめて彼方へ飛んでいった。「そろそろ、さようならの時間ですよ。理屈ではなく、世間の声でもなく、神でも仏でもなく」自分の組成が自分にそう告げるのである。

「市役所の窓口でわめいているのは年金を貰ってるジジイばかりじゃないか」日本のどこかで囁かれているらしい。時間は止まってくれないし、過去を再び生きるわけにはいかない。

生まれたことに責任は取れない、しかし、何故そんなのかを真剣に考えるところに、ある種の芸術行為や芸術理解のスタートラインがあるのである。音楽、ダンス、彫塑にスタティックな絵。ギリギリまで絞り込んだアスリートたちの肉体、職人さんたちの集中力と没頭できる力。

それら美しいものたちの根底には「生きたい」ことと「死ななければならない」ことの不条理への抗いがある。

「喚いているジジイ」にあって、漠然と未来や将来を考えることのできる若いキミたちに欠けているもの、それは不条理に耐え、耐えきる覚悟のきっかけがあるか否かである。

ジジイとババアたちよ、年金の話など死ぬことを前には蚤のキンタマくらいの話でしかない。年金を楯にジジイを批判する者よ、キミには残念ながら哲学がない。哲学とは他人と歴史へのリスペクトと想像力を駆使することへの不退転の決意なしには成り立たない。

人間として生まれ、やがて死ぬ存在である若いキミ。死に直面するとはおそらくキミ如き感性しかない人間には想像もできない高尚な仕事であり宿命なのだ。

2019年2月9日(土)・10日(日)

18:00開演〔17:30開場 17:00受付開始〕

青森県立美術館アレコホール

全席自由 青森県立美術館内・青森市安田字近野185

### ●前売料金

一般 3,000円 (当日 3,500円)

学生 2,000円 (当日 2,500円)

※前日までの予約で満席となる場合は、当日券の販売を行わない場合もあります。

### ●前売チケット販売プレイガイド

全 国 / ローソンチケット (Lコード: 21319)

青 森 市 / 成田本店しんまち店・サンロード青森・青森県立美術館ミュージアムショップ

弘 前 市 / ヒロコ

八 戸 市 / ラビア

五所川原市 / ELMインフォメーション

※販売は各公演前日まで、各券種とも公演日指定での販売となります。

### ●事務局チケット予約 / 小・中・高校生 無料ご招待!

事務局にて前売チケットのご予約が可能です。

また、小学4～6年生・中学生・高校生を各公演60名まで無料招待します。

電話・FAX・Eメールにて以下項目を事務局までお伝えください。

有料チケットのご予約と併せてのお申込も可能です。

(1) ご希望の公演日・券種・鑑賞人数

(2) ご予約者 (代表者) 氏名

(3) 代表者のご連絡先 (電話番号・FAX・メールアドレスのいずれか)

一以下、小・中・高校生 無料ご招待お申込の方のみ

(4) ご招待者の氏名・学校名・学年

※各予約・申込受付は、各公演の前日17時まで。公演当日の受付にて精算・発券となります。

※夜間の公演となりますので、中学生以下の無料ご招待をお申込の際は、お子様の安全を踏まえ、必ず大人 (保護者) 同伴での鑑賞をお願いします。

### ●各種サービス

① 無料託児サービス (1歳～小学3年生まで)

美術館内のキッズルームにて開場から終演までの間、託児サービスを行います。

2月1日 (金) までに事務局へお申込ください。

② 終演後の無料送迎サービス

終演後、青森駅まで無料送迎を行います。青森駅以外では降車できません。

2月5日 (火) までに事務局へお申込ください。

③ カフェ「4匹の猫」臨時営業

開場時間まで、美術館内のカフェの延長営業を行います。

(ラストオーダーは開場時間の30分前まで)

### ●当日のご注意

・受付場所は美術館1階シアター前となります。

・受付順のご入場となります。

・公演会場内は撮影・録音・飲食禁止です。

・公演会場へのお花の持ち込みはご遠慮ください。

(お花は受付にてお預かりし、公演終了後に出演者にお渡しします。)

### ●アクセス

・青森駅の青森市営バス「青森駅前6番」バス停から「三内丸山道跡」行きに乗車、「県立美術館前」下車 (所要約20分)

・JR新青森駅のルートバスねぶたん号「新青森駅東口」バス停から乗車、「県立美術館前」下車 (所要約10分)

・東北縦貫自動車道青森I.C. から車で約5分

・青森自動車道青森中央I.C. から車で約10分 (八戸方面から)



〔予約受付・お問い合わせ先〕〒038-0021 青森市安田字近野185 青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会 事務局

TEL 017-783-5243 (直通・平日9:00～17:00) FAX 017-783-5244 E-mail aleko@aomori-museum.jp

※個人情報厳重に管理し、本公演以外の目的では使用いたしません。